

* 学 会 投 稿 規 定 *

I. 内容について

「早稲田大学数学教育学会誌」は、数学教育に関する講演記録、論文、論説、ショートノート、学会報告、教室から、寄稿、会員の声、書籍紹介の他、本学会に関する事業記録、案内、などを掲載します。

1. 論文は、学会設立の主旨に沿った内容のもので、オリジナリティーのある未発表のものに限ります。
2. 論説は体系化されたものを専門外の人でもわかるように執筆されていて、啓発的な示唆に富んだ内容のものとしします。
3. 論文・論説はその内容に関連する分野の2名以上の専門家によって査読が行われます。
4. 論文・論説の区分は原則として執筆者の希望によりますが、査読者の意見を参考にして編集委員会が決めることもあります。
5. ショートノート・教室からは教育現場の経験や実践の中での工夫や提言といったものを内容とし、今後の教育研究の素材となるものとしします。
6. ショートノートは、分科会での発表の要旨を含みます。
7. 寄稿・会員の声は、数学教育に関する意見や提言あるいは所感などとししますが、数学に直接関係のない内容でもかまいません。

II. 投稿の方法

1. 原稿は電子媒体（電子メール、Webページ、フロッピーディスク）または完成原稿にてお願いします。
2. 原稿のまとめ方
 - (1) 原稿の内容は研究目的、研究方法、結果のまとめなどを含んで研究の概要がわかるよう簡潔に要領よくお書き下さい。
 - (2) 論文は1. まえがき、2. 本文、3. 結論、4. 参考文献の順で書いて下さい。
 - (3) タイトル欄は、次の例のようにして下さい。

学習指導要領の改訂について

← タイトル

—中学校の立場から—

← サブタイトル

早稲田大学 杉山 吉茂

← 所属、氏名

（複数の場合は列記して下さい）

- (4) 和文で記述された論文・論説の原稿には、別に英文タイトルもつけて下さい。
- (5) 文体は”である”調とし、学術用語は文部科学省の規定があるものについてはそれに従って下さい。
- (6) 参考文献を文中に引用する場合は、その箇所の右肩に文献番号を引用順に) 付きで入れ、末尾にその文献をまとめて記述して下さい。

<参考文献例>

[本文]

パソコン通信¹⁾ ²⁾とはパソコンやワープロにモデムを経由して一般の電話回線を通じて通信を行うもので次に挙げるようないくつかの特徴を持っている：

[参考文献欄]

参考文献

1. ASCII, コミュニケーション パソコン通信 ハンドブック, アスキー1986
2. ASCII, パソコン通信 ハンドブック実戦編, アスキー, 1985

3. 電子媒体で投稿される方へ

- (1) 電子メールの場合
 - (i) テキストファイル
 - (ii) Tex形式のテキストファイル
 - (iii) ワードプロ（原則としてMicrosoft Word）の書式（添付ファイル）のいずれかで、お願いします。図・表は添付できるものか、適当なURLにpdf形式で置き、そのURLを通知して下さい。
- (2) Webページの場合
適当なURLにpdf形式で置き、そのURLを通知して下さい。
- (3) フロッピーディスクの場合
 - (i) 媒体は、3.5インチ2HD（1.44MB）でお願いします。
 - (ii) 記録形式は、テキストファイルを原則といたしますが、その他のものでもかまいません。この場合は、お使いのハードウェア・ソフトウェアを明記して下さい。
 - (iii) 念のため、打ちだしたものを同封して下さい。

4. 完成原稿で投稿される方へ

- (1) ワードプロ等で打ちだしたのも受け付けますが形式を以下のようにして下さい。
 - ① A4版の紙を縦おきにし横書きでお願いします。
 - ② 上下 25mm, 左右 20mmの余白をとり、全体は、32行45字として下さい。
 - ③ タイトル、サブタイトル、所属、氏名は、1ページ目の最初の12行で書いて下さい。

<タイトル例>

***** * * * 論 説 * * * *****	} 12 } 行
理念を討議せよ	
早稲田大学名誉教授 寺田 文行	

- ④原稿には鉛筆でページをつけておいて下さい。
 - (2) 4の要領でフロッピーディスクを同封下さい。
 - (3) 出された原稿をB5に縮小し、そのまま製版しますので、図、表中の文字の大きさ等に注意して下さい。
6. 提出されたものについてはお返しできませんので、ご了承下さい。

*例は、本学会誌第10巻10周年記念号、第20巻20周年記念号より、引用させていただきました。